

在宅医療・介護連携についてのアンケート集計結果

発送数：425

回答枚数：208（回答施設数196）

回答率：48.9%（46.1%）

・ 貴院の情報

	件数	割合 (%)
病院	32	15.6
診療所	173	84.4

診療所	件数	割合 (%)
有床	32	18.5
無床	141	81.5

・ 標榜診療科目

【病院】

診療科目名	件数	割合
内科	19	20.0%
外科	10	10.5%
整形外科	10	10.5%
リハビリテーション科	10	10.5%
循環器科・循環器内科	6	6.3%
放射線科	5	5.3%
消化器科・消化器内科	4	4.2%
脳神経外科	3	3.2%
泌尿器科	3	3.2%
麻酔科	3	3.2%
胃腸科・胃腸外科	3	3.2%
呼吸器科・呼吸器内科・呼吸器外科	3	3.2%
精神科	2	2.1%
総合診療科	2	2.1%
多診療科	2	2.1%
糖尿病内科	1	1.1%
内視鏡内科	1	1.1%
脊椎脊髄外科	1	1.1%
小児科	1	1.1%
歯科	1	1.1%
神経内科	1	1.1%
心療内科	1	1.1%
胸部外科	1	1.1%
眼科	1	1.1%
リウマチ科	1	1.1%

【診療所】

診療科目名	件数	割合
内科	61	31.4%
整形外科	25	12.9%
消化器科・消化器内科	12	6.2%
リハビリテーション科	12	6.2%
循環器科・循環器内科	9	4.6%
胃腸科・胃腸内科	8	4.1%
心療内科	7	3.6%
精神科	7	3.6%
麻酔科	6	3.1%
リウマチ科	6	3.1%
眼科	6	3.1%
外科	6	3.1%
脳外科・脳神経外科	4	2.1%
呼吸器科・呼吸器内科	4	2.1%
神経科・神経内科	4	2.1%
耳鼻科・耳鼻咽喉科	4	2.1%
泌尿器科	3	1.5%
小児科	3	1.5%
皮膚科	2	1.0%
放射線科	2	1.0%
肛門科	2	1.0%
アレルギー科	1	0.5%

・介護との連携窓口や専任の担当者の有無

	件数	割合 (%)
有り	70	35.5
無し	127	64.5

1. 貴院では在宅医療（往診や訪問診療等）および、在宅の高齢患者の急変時の受入やレスパイト入院等を実施していますか。

	件数	割合 (%)
在宅医療および急変時の受入やレスパイト入院等の両方を実施している。	22	10.8
在宅医療を実施している	63	30.9
急変時の受入やレスパイト入院等を実施している。	20	9.8
上記のいずれも行っていない。	99	48.5

2. 在宅で医療と介護を必要としている高齢者の支援における、在宅医療と介護の連携について、現在、在宅医療や介護に関わる多職種との連携はうまく取れていると思いますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
取れている	17	8.4
概ね取れている	118	58.4
あまり取れていない	47	23.3
取れていない	20	9.9

3. よく連携が取れていると感じている職種をあげて下さい。（上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。）

	件数	割合 (%)
医師（病院、診療所）	99	20.3
歯科医師（歯科診療所）	13	2.7
薬剤師（調剤薬局）	39	8.0
看護師（病院、診療所）	53	10.9
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士（病院、診療所）	49	10.1
歯科衛生士	0	—
管理栄養士	0	—
ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）	112	23.0
介護職（デイサービス）	13	2.7
介護職（ヘルパー）	28	5.7
地域包括支援センター職員	50	10.3
その他（※）	9	1.8
なし	22	4.5

※訪問看護。保健師。施設看護師。リハビリ。

在宅医療をやっていない。必要な時には仲間の医師にお願いしている。

4. 連携が取りにくいと感じている職種をあげて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
医師 (病院、診療所)	32	7.7
歯科医師 (歯科診療所)	41	9.8
薬剤師 (調剤薬局)	39	9.3
看護師 (病院、診療所)	12	2.9
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	35	8.4
歯科衛生士	23	5.5
管理栄養士	30	7.2
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	41	9.8
介護職 (デイサービス)	41	9.8
介護職 (ヘルパー)	45	10.8
地域包括支援センター職員	31	7.4
その他 (※)	4	1.0
なし	44	10.5

※医師、歯科医師以外とかかわりをもったことが無い。

※個人によって連携が取りにくい人、取れている人がいる。

※市の福祉課職員。

※職種というより個人の仕事に対する熱意等により個人差が大きい。

5. 今後、更に連携を強化していく必要があると思われる職種をあげて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
医師 (病院、診療所)	62	13.7
歯科医師 (歯科診療所)	33	7.3
薬剤師 (調剤薬局)	31	6.8
看護師 (病院、診療所)	20	4.4
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	64	14.1
歯科衛生士	4	0.9
管理栄養士	9	2.0
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	85	18.7
介護職 (デイサービス)	25	5.5
介護職 (ヘルパー)	31	6.8
地域包括支援センター職員	61	13.4
その他 (※)	4	0.9
なし	25	5.5

※市や県の在宅部門の職員。訪問看護。行政の保健師。

6. 多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか。(上位3つまで。)

	件数	割合 (%)
職種間の専門性や置かれている状況の理解	72	15.9
患者(利用者)情報の共有	117	25.9
役割分担の明確化	54	11.9
連携コーディネーターの存在	83	18.4
連携窓口の設置	40	8.8
サービス担当者会議の開催	19	4.2
患者(利用者)及び家族の理解	58	12.8
その他 (※)	9	2.0

- ※介護職との連携。
- ※医師の介護に関する知識の向上と介護士の医療に関する知識と意識の向上。
- ※顔の見える関係づくりの場。
- ※ケアマネジャーのマネジメント能力。
- ※各職種の人材の質の向上。
- ※お互いの顔が見えること。
- ※行政の積極的介入、患者家族への行政からの啓発。
- ※コミュニケーションをとる。

7. 多職種との連携において、最も有効と思われるツールを一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
共通の連携シート (紙媒体)	72	38.9
ICTによる情報共有ツール	35	18.9
お薬手帳のような個人で持つ情報シート (ノート)	73	39.5
その他 (※)	5	2.7

※ケア会議とはいかないまでも、直接面会して話し合うのが最も良い。電話では意図は完全に伝えられない。

- ICチップによる各部署での情報入力。
- 既存のツールで良いものはなさそう。
- 顔を合わせること。

8. 多職種間の連携が特にうまくいっていない場面はどこですか。(複数選択可)

	件数	割合 (%)
日常の療養支援	71	30.2
入院時	36	15.3
退院時	29	12.3
急変時	83	35.3
看取り	16	6.8

9. 介護支援専門員 (ケアマネジャー) との連携についてお尋ねします。

①関わりのある介護支援専門員 (ケアマネジャー) に求めること (複数選択可)

	件数	割合 (%)
介護申請あるいは主治医意見書作成に関する情報提供	100	21.6
外来時の同行	40	8.7
生活状況、家族状況などの情報提供	118	25.5
居宅サービス計画の提出	36	7.8
サービス担当者会議に参加依頼がくる	16	3.5
生活状況や状態が変わった時に連絡が入る	93	20.1
入院、退院の連絡が入る	42	9.1
担当の挨拶をもらう (書面、外来時)	12	2.6
その他 (※)	5	1.1

※できるだけこちらの指示での外来通院をして欲しい。
調整進捗状況等、情報発信と情報共有の徹底。
おせっかい過ぎるくらいの介入。

②介護支援専門員（ケアマネジャー）に求める力量について（上位3つまで）

	件数	割合（％）
最低限の医療知識を持つ	74	14.6
明確に状況や質問内容を説明できる	109	21.5
本人についての正しい情報を得ている	116	22.9
多職種との交渉力	42	8.3
多職種との調整力	80	15.8
社会的なマナー	37	7.3
社会資源の情報量	20	3.9
医療制度の理解	22	4.3
会議の有益な進行力	4	0.8
その他（※）	3	0.6

※自分の都合を優先しないこと。

ある程度以上の医療知識が必要。医療知識の不足しているケアマネジャーが多すぎる。

③介護支援専門員（ケアマネジャー）との希望する連絡方法について（複数選択可）

	件数	割合（％）
窓口（担当者）を通しての連絡	78	22.2
ケアマネタイム等の利用	20	5.7
FAX	52	14.8
電話	53	15.1
メール	22	6.3
面談（外来同席）	68	19.3
面談（予約）	40	11.4
ICTを活用したシステム	19	5.4

④介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携に支障となっている事は何ですか（複数選択可）

	件数	割合（％）
必要性がわからない	11	3.7
時間の余裕がない	71	23.9
医師に代わる担当者が院内にいない	29	9.8
介護保険制度がよくわからない	17	5.7
介護支援専門員からのアプローチがない	70	23.6
人によって連携の取りやすさに違いがある	88	29.6
その他（※）	11	3.7

※ケアマネジャーに医療知識が無くこちらの伝える病状を理解してくれない。

※一部ではあるが自社のサービスをできるだけ沢山入れようとするケアプランを立てるケアマネジャーがいて、そういうケアマネジャーに限って意見書の内容に介入してくる。

※患者が担当ケアマネジャーの名前を知らず連絡が取れない。

※自分の都合を優先している。

※介護職のケアマネジャーが多い。

※土日休みが多い。

※必要性の乏しい要介護度の低い患者に介護保険の申請をすすめられる方があります。

誠に慎んでいただきたいです。

※利益追求のため、必要性の無い介護サービス計画を作成している。

※機会がない。

※特にありません。

10. 介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）との連携についてお尋ねします。

①介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）と連絡をとりあったことがありますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
よく連絡を取り合っている	14	7.3
連絡を取ることがある	78	40.6
ほとんど連絡を取ることがない	72	37.5
連絡を取り合ったことがない	28	14.6

②介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）とも、直接連携を取る必要性を感じますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
とてもそう思う	25	13.2
そう思う	115	60.8
あまり思わない	40	21.2
思わない	9	4.8

入院を受け入れる病院、診療所側の立場から

※該当する医師のみご回答下さい。

11. 介護サービスを利用中の方が入院してきた場合の質問です。

①患者の担当の介護支援専門員を把握していますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
ほとんどの患者で把握している	17	27.0
半数ほど把握している	11	17.5
あまり把握していない	23	36.5
把握していない	12	19.0

②入院前の患者情報（介護や日常生活に関する情報）を担当介護支援専門員から入手していますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
ほとんどの患者でしている	19	28.8
半数ほどはしている	15	22.7
ほとんどできていない	26	39.4
していない	6	9.1

退院支援・調整について ※該当する医師のみご回答下さい。

※介護サービスの導入が必要と思われる患者が退院する際を想定してお答えください。

1 2. 退院時カンファレンスの開催についてお尋ねします。

① 開催頻度について、一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
ほとんどの患者に開催している	9	14.5
必要と判断した場合に開催している	30	48.4
事業所から要請された場合に開催している	6	9.7
ほとんど開催していない	7	11.3
開催したことがない	10	16.1

②退院時カンファレンスの参加者について、一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
退院後の担当医師を含む医療・介護関係者全員に参加を呼掛けている	29	58.0
退院後の担当医師を含む医療関係者と介護支援専門員(ケアマネジャー)だけに参加を呼掛けている	11	22.0
退院後の担当医師を含む医療関係者のみに呼掛けている	1	2.0
院内スタッフだけで行なっている	9	18.0

③上記②で「医療関係者のみに呼掛けている」「院内スタッフだけで行なっている」と答えた方へ退院前カンファレンスに介護関係者を招集しない場合の理由は何ですか。(複数選択可)

	件数	割合 (%)
日程調整が困難	9	56.3
本人・家族が希望しない	0	—
介護事業所からの要望がない	7	43.8
医療以外のサービスを利用しない	0	—
その他	0	—

1 3. 退院時の情報提供についてお尋ねします。

①退院時に介護支援専門員(ケアマネジャー)に情報提供していますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
している	28	46.7
あまりしていない	17	28.3
していない	15	25.0

②①で「あまりしていない」「していない」の理由は何ですか。(複数選択可)

	件数	割合 (%)
提供先がわからない	10	25.0
提供先から求められない	26	65.0
必要な患者がいない	3	7.5
その他(地域連携担当者に任せている)	1	2.5

看取りについて

14. 在宅での看取りを希望する患者に対する、介護との連携についてお尋ねします。

- ①看取りを希望する患者に対し、介護支援専門員（ケアマネジャー）等、介護との連携を取っていますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
取っている	37	25.2
概ね取っている	43	29.3
あまり取っていない	24	16.3
取っていない	43	29.3

- ②①で「あまり取っていない」「取っていない」の理由は何ですか。（複数選択可）

	件数	割合 (%)
展開が急な場合が多く、医療関係者だけで看取ることがほとんどである	28	40.0
介護側の医療知識が乏しい	8	11.4
介護側の動きが遅い	8	11.4
その他（※）	26	37.1

※看取りのケースが少ない。

※看取りを行っていない。

※看取りの経験が無い。

※入院での看取りはあるが、在宅での看取りはしていない。

※当院の医師マンパワーでは、在宅看取りは不可能です。

※前もっての看取りの連絡は無いため。

※訪問看護と連携が取れば十分である。

※看取り対応可能な施設へ紹介する。

※開業して時間が経っておらず、そういう状況にない。

※在宅医療を行っていない。

※見取りの事例が少ないため。

※地域連携担当者に任せている。

※施設入所中の方しか見取りをしたことがないので必要なかった。